



私が最も大切にしたいこと

黒竜江省・ハルビン市朝鮮族第一中学 高2（女）

洪 貞林

私には大切にしたいことがたくさんあります。たくさんありすぎて、広い空を埋めつくせないほどです。例えば親せきといっしょに過ごす時間、友達と過ごす時間、そして家族と過ごす時間……。以前、最も大切にしたいものは友達からもらったプレゼントでしたが、今私が最も大切にしたいものは家族といっしょに過ごす時間です。

子供の頃を思い起こせば、両親といっしょに過ごした時間が一番多かった気がします。朝起きて、テーブルの前に座れば、母が準備してくれたおいしいご飯を食べることができましたし、夜には、両親といっしょにテレビの前で、おしゃべりをしながら、いろいろな番組を笑って見ていました。そして、時間がある時は、家族全員で買い物に行って、服や日用品を買ったり、時にはレストランに入って、食事をしたりもしました。その頃が、私にとってとても幸せで、大切な日々でした。決して裕福なものではありませんでしたが、家族といっしょに祭日を過ぎて、いっしょに笑っているだけで、とてもうれしくて幸せでした。もし時間を巻き戻すことができるなら、もう一度あの幸せで、楽しかった日々に戻りたいです。

今中国の経済はとても発展しましたが、その代わり物価がどんどん上がって、お金がないと、いい暮らしができない社会になってしまいました。私の父は小さいころから、病気がちで、あまり難しいことはできない体でした。それで、家庭の負担は全部母が引き受けていました。私と姉の学費を稼ぐために、母は異国の韓国に行ってアルバイトをすることになりました。だから、毎晩、勉強が嫌になった時は、私たちのために、韓国で苦勞している母のことを思って、もう一度一生懸命勉強しようと自分を励ましています。こうして、元々幸せだった私の家族はバラバラになってしまいました。私と姉はハルビンにある学校の寮に、母は韓国に、父は一人で家を守っています。家族が離れ離れになって、私は家族の大切さが身に染みて分かり

ました。学校で生活している時も、あの頃の幸せだった日々をよく思い出しています。休みの日、母は私に国際電話を掛けてきて、二人で1時間ぐらい話します。母は電話でよく「たとえ家族がバラバラに離れていても、私たちの心だけはしっかり一つにつながっていることを忘れないでね。いつかきっと家族がまた集まって楽しく食事できる日が来るのだから。」と言っていました。私は母の言葉を心に刻んで、毎日その日が来るのを待っていました。しかし、数カ月が過ぎても、その日はやってきませんでした。それで、少しがっかりしていました。ところがなんとその数カ月後に、母が電話で「今度の春節、ついにいっしょに過ごせる。」と言ってきたのです。その言葉を聞いて、私は急にうれしくなって、心がまるで気球のようにふわふわと飛んでいきそうになりました。その日から、毎日、指折り数えながら、春節が来るのを待っています。

これから私は、家族といっしょなら、たとえどんなに小さな事でも、大切にしていきたいと思います。家族は私にとって、他のどんな物とも比べることができないぐらい大切なものだと分かったからです。